

●白州だより

ガーデン
・ポタジェ
特集号

2014年8月23日
二十四節気 処暑
発行 白州郷牧場
山梨県北杜市白州町横手 2259
TEL：0551-35-4520
FAX：0551-35-0132

白州郷牧場から夏のおたよりをお届けします！

<http://www.hakusyu.jp/> info@hakusyu.jp



花とハーブの庭園～子供が育つ農園～

農園に子供がいる風景は、見ていて思わず笑顔になります。収穫や草とりを手伝う子、お絵描きに夢中になる子、虫とりしている子、お花を摘んで髪に挿している子、「迷路みたい～」と走り回る子…「白州 ガーデン・ポタジェ」で、自分なりに楽しんでいる子供たちと一緒にいると、私もいつの間にか子供に戻って、しげしげとアゲハの幼虫を眺めていたりします。

農園のそこかしこで、虫が羽音を響かせ、かえるが昼寝、とうとうのら猫まで住みついて…誰にとっても居心地のよい場所なのでしょう。ここは、白州の美しい環境のもと、無農薬・無化学肥料栽培はもちろんのこと、育苗から畑づくりまですべてが手づくり。美しい農園では、花がら摘みや草とりなどの作業ですら、豊かな気持ちになるから不思議です。

私は、東京で暮らしていた頃、ベランダでたくさんの植物を育てていました。ベランダは植物にとって過酷な場所。環境が合わないものは、手入れをしてもどんどん元気がなくなります。肥料や活性液を買いこんで、なん

とか元気を出させ、むりやり咲かせた花が美しかったかどうか…ガーデン・ポタジェの植物を見ていると、健やかな花や葉がどれだけ美しいか思い知らされます。あまり好きではなかった百日草の愛らしさにハッとしたり、興味がなかったマリーゴールドのレースのような葉の美しさに感動したり。なにより健やかな野菜は本当に美味しい！発見と感動の毎日。白州の環境に支えられ、農を営む場所で自然と共に過ごす…子供時代に体験できるなら、それは本当に幸せなこと。水や土や風、生き物たち、食べるということ、それぞれがどのように結びつき巡っているのか…机の上でお勉強するよりも、ここで体感した方が断然楽しい！

花とハーブの庭園は、彩りと香りに満ちています。バジルの匂いでお腹がすいたり、出会った人と庭を介して話がはずんだり。基本は「畑」なのですが、様々な可能性を感じさせる場所です。

ぜひご家族で遊びにいらしてください！



ガーデン・ポタジェのあれこれ進行中！

できること、やりたいこと、企画中も含めリストアップ。
おうちで簡単に試せるアイデアも。

赤シソジュースサービス

赤シソがそろそろ収穫期。シソジュースの季節です。葉を煮だして作るので、ポタジェの無農薬栽培赤シソがありがたい。赤じそエキスタっぷりで、夏の疲れを癒してくれます。タイミングが合えばおっぱに亭こっこで飲めるかも？

コキア（ぼうき草）で 手づくりぼうきを作ろう！

園内にはこんもりかわいコキアがいっぱい。秋に真っ赤に色付くのを楽しんだ後は、せっかくなのでぼうきにします。材料がたくさんあるので、みんなでワークショップしましょう！（詳細は後日改めて）電気を使わないお掃除が見直される昨今、手づくりぼうきはいかがでしょう？

その他、ハーブ寄せ植え販売や、施肥と畑づくり講習、コンパニオンプランツについてなど、企画いっぱい。

白州ガーデン・ポタジェの最新情報は、白州郷牧場のFacebookからどうぞ！



www.facebook.com/hakusyugou.bokujo

野菜

・モロヘイヤ
・オクラ
・タカノツメ
・赤シソ
・青シソ
・坊ちゃんカボチャ
・ゴーヤ
・金時草
・モロココインゲン
・スナックえんどう
・トマト
・らっかせい
・にんじん
・ピーマン

ハーブ

・バセリ～「グランド」
・イタリアンバセリ
・バジル
・レモンバーム
・カモミール
・ルッコラ
・オレガノ
・コリアンダー
・セージ
・スーパセロリ
・サラダバーネット
・ディル
・スベアミント
・レモングラス

花・その他

・コキア
・コリウス～「ウィザード混合」「ケアフリー混合」
・マリーゴールド～「ボナンザオレンジ」「ボナンザイエロー」
・フレンチマリーゴールド～「サファリレッド」
・百日草～「ドリームランド」
・アイボリー、イエロー、コーラル、ピンク、ローズ、カーマイン
・ひまわり～「ビンセントクリアオレンジ」「ビンセントオレンジ」
・日々草～「パシフィカXPホルカドット」
・朝顔
・アスター
・コスモス

ガーデン・ポタジェの監修と設計

磯田 有治（いそだ ゆうじ）

日本農業新聞勤務後、BM技術協会（現一般社団法人BMW技術協会）設立時の事務局を担当。BM技術協会事務局長時に資源循環型有機農業等の講座「土と水の学校」を企画・実施。現在、途上国での農業技術指導等を行う。2000年から、有機栽培、コンパニオンプランツ、BMW技術等を活かした「美しい農園づくり」の企画・設計を千葉、茨城、福島県で実施。（有）千葉自然学研究所、磯田工房 代表。



7月26日 白州ガーデン・ポタジェ 開園しました！

おっぽに亭ここのとなりの圃場で制作が進められていた「白州 ガーデン・ポタジェ」が、7月26日に開園しました。「ガーデン・ポタジェ」(英語のGaden〜庭園+フランス語のPotager〜農園)を考案された磯田氏に、監修・設計をしていただきました。

今年1月から準備をはじめ、4月下旬から育苗開始。5月中旬に圃場を測量し、すぐにベッドづくり。5月下旬にはベッドがほぼ完成し、同時に苗の定植と直まき分の種まきをスタート。そこからはあっという間でした。

白州の美しい環境にいだかれた農園です。ただ美しいだけでなく、もちろん無農薬・無化学肥料栽培、使用する資材もできるだけ自然に還るものを活用しています。すぐに雑草だらけになりますから、折りをみて、地道に手で草とりをしています。

野菜と花とハーブが一緒に育つ農園の中は色彩と香り、生き物の気配に満ちています。ハーブや花は、野菜の病害虫予防に一役買ってくれるだけでなく、目も楽しませてくれ、触れると香り立ち、食べたり飲んだりできる…磯田氏の言う「五感で体験できる農園」が「ガーデン・ポタジェ」なのです。

◆ ハーブの育苗

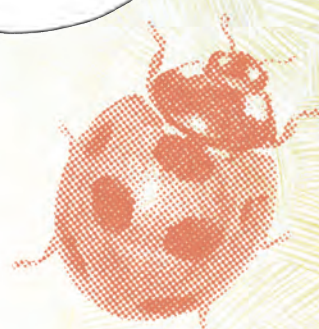
花や野菜と一緒に、ハーブ類を種から育苗しましたが、とても時間がかかりました。吹けば飛ばよな細かい種、やっと芽が出て、なかなか大きくならない…どうやってポット上げしようか悩むような華奢な苗たち。春の白州は朝晩かなり冷え込みます。そのせいか成長はかなりゆっくりでしたが、結果的に、締まった美しい苗ができました。定植してからは、雑草か?とあきれれるほどの勢いで、他の植物を圧倒しています(笑)。



ほうき草、
おっきいなあ



ポタジェ?
ポタージュ?
おーそうな
名前だね



◆ さよなら、ひまわり

ひまわりは、予想をこえて堀のように大きく育ち、まるで「秘密の花園」のようになりました。8月10日の台風11号によって、見頃の真っ最中にすべてなぎ倒されてしまいましたが、8月1日からの「キララ夏の学校」では、一番美しい状態で子供たちを迎えることができました。

今年2月の大雪、そして台風。農業など自然に関わる仕事を営む人が、やおよすの神を崇める気持ち、自然に対する謙虚さ、畏怖の念…自然が猛威をふるい、すべてが無に帰すようなことがあっても、あきらめるといよりも気持ちに折り合いつけて、また明日から始めていく。農の仕事はままならないことばかり。私はまだまだ修行が足りませんが、少しずつ感じています。

◆ これからも続く、ガーデン・ポタジェ

ここからは秋作に向けて切り替えていきます。ひまわりがあった場所に植えるコスモスもすでに育苗中。

「ひまわり残念だったね」「でも中がよく見えるようになったよ!」おっぽに亭ここのお客さんや地域の方々から声をかけてもらって元気100倍!ガーデン・ポタジェは、交流の生まれる場所でもあるのです。

ガーデン・ポタジェの準備期間から現在まで、農場やお店が最も忙しい時期と重なっており、時間が限られている中、忙しい合間をぬって、たくさんの方が関わってくださいました。おかげさまでなんとか開園を迎えられました。ありがとうございました。今後もまだまだ続きますので、なにとぞよろしくお願いいたします。

(織田 淳子)